



昨年(1987年)の6月25日に「第33回日米親善高等学校レスリング大会、新潟・新津大会」が市民会館大ホールで行われました。これは新潟県高等学校体育連盟と日本アマチュアレスリング協会が毎年県内各地で開催しているものです。

アメリカ合衆国フロリダ州選抜の12名の高校レスリング選手と団長、コーチの合計16名が、日本各地の高校生と親善試合をしながら交流を深めるという有意義な活動です。新津に滞在中にホームステイを体験してもらおうということでホストファミリーを一般公募しました。その結果、8家庭に2泊3日の滞在をお願いしました。なかには、ご自分の息子さんが昔高校でレスリングをしていて、アメリカ遠征に出してもらった恩があるから今回はその時の恩返しをしようという引き受けられた方もありました。またNICEの会員ではないが応募してもいいんですか、なんて遠慮がちに申し込まれた方もありました。

全体の流れとしては、初日の夜に歓迎パーティがあり、そこで受け入れるファミリーとアメリカ人高校生(一家に2名ずつ)が対面しました。緊張した方、余裕のある方、いろいろでした。その晩はどんな会話が弾んだのでしょうか。二日目は大会です。朝はちょっと市内観光をして、ウォーミングアップの後、大会が行われました。市民会館には第一中学校の吹奏楽部の素晴らしい演奏が響き渡り、アメリカ合衆国の国歌が流れたときの選手たちの顔はとて



選手たちの
笑顔・笑顔・笑顔

アメリカレスリング高校生受入れ

した大会はなかったとか。

新潟県選抜のニイガタオールスターズの健闘もありましたが、勝負は少しの差でアメリカの勝ちとなりました。でも学生たちの真剣な姿や、すがすがしい振る舞いを見ていて、勝敗に関係なくどちらにも勝ちを与えたいほどでした。大会後にはまたパーティがあり、どちらの選手も笑顔で交流し、すぐ三日目の別れの朝が来ました。余りにも早く過ぎてしまった三日間で、どのホストファミリーも「もっとゆっくり話がしたかった」と、とても残念がっていました。

今年は第34回大会が横越で行われます。また、機会があれば応援に行ったらいいかながらうでしょう。さわやかなアメリカのスポーツ青年たちの笑顔が見られるはずですよ。



アメリカ選手たちの声

- ★新津はとても素敵、美しい!
- ★皆さんがとても好意的で、街も山々とてもきれいです。
- ★私は、新津の美しさと心の温かさを十分に感じました。
- ★ここは、信じられないほどの良い、素晴らしい景色の処。
- ★人々の心が開かれていて、とても良く世話をしてくださり、感謝しています。
- ★親善試合は挑戦的でおもしろかった。
- ★エキサイティングな試合をどうもありがとう。
- ★皆様が選手のために、大変なお骨折りをしてくださった事に、心から感謝しております。この訪問を永遠に忘れません。いつでもフロリダにおいでください。

ホストファミリーの声

(それぞれの皆さん感想文の抜粋です。)

我が家はいつも特別扱いしないのが実状です。不思議なことにこちらが気を使わなければ、お相手も全くその通りで自然体で楽しい数日間を過ごしてくれます。人種間における考え方や生活の違いというものは、お互いに尊重しあいながらも「日本に来たときは日本の生活にどっぷりつかってもらおう」のが我が家流です。

(秋葉 沢田友義さん)

パーティが多かったので、せっかくの滞在なのに家族と過ごせる時間が限られてしまい、残念でした。選手の皆さんにもゆっくりと休ませてあげられるような時間がもてなくてかわいそうな気がしました。ホストをしてみて、家族のなかに英語が聞ける、話せる人がいないと大変なんだと切実に思いました。

(田家 山名幸夫さん)

ほとんど日本語を話せない彼らと、ほとんど英語を話せない私達でしたが、不思議と会話がはずんだのはなぜでしょう。家族について、趣味について、クリントン大統領はフロリダではほとんど人気がないこと、アメリカでは約50%がエイズに侵されている(?)こと、握手の仕方、乾杯の仕方、いろいろありました。彼らを見送った朝は、一抹の寂しさと、疲労感、しかし、それにも増して「楽しかった、良い経験をしたな。」という充足感で一杯でした。

(市之瀬 市川 昭さん)



市川家(トッドとダスティン)



彼らが大変行儀が良いのに驚いた。フロリダのホームタウンを我々に知らせようとする意欲と郷土愛に感心した。「はたして、我々が外国に行ったときには、新潟について自信をもって語れるかどうかを考えさせられた。」気楽に対応できたので、ホームステイは楽しかった。

(大関 高井昭芳さん)

今回は私が都合で休暇を取れずに困っていたところ、兄一家が送迎などを引き受けてくれたりして、周りの人達の協力で助かりました。国際交流を通じて、選手だけでなく、周りの方々とコミュニケーションが図れたことが嬉しいのです。東南アジアの方を受け入れたときは宗教の違いで食べ物にも気を使いましたが、アメリカの方は気遣いが少なくすみ、楽しめました。彼らとはこれからも文通などで付き合い合っていくつもりです。

(美幸町 早川健一さん)

英語には自信もないし、家はアバラ屋で狭いトイレ、荒れ放題の庭、どれをとっても不安材料でしたが、明るい好青年のロブとチャーリーは「ウォッシュ」といってスズけた台所にはいり、「ロングミラー」といって我が夫婦の寝室の三面鏡を使ってもらったり、何も気にすることはなかったのです。「杞憂」でした。英語に弱い家内も身振り手振りでやっていました。重荷と思わずリラックスしたお陰で良い思い出になりました。

(善道町 伊藤 亮さん)



伊藤家(ロブとチャーリー)

住まいに関することは何でもご相談ください。



石川組
株式会社
本社/〒956 新潟県新津市駅95-1
0250-22-0937
新潟県新潟市東区東町670-1
025-233-0571

— 身近な情報発信は —
周波数 76.1MHz

株式会社 **エフエム新津**

本社スタジオ: 〒956 新潟市東町2丁目5-6
TEL (0250) 23-5000 FAX (0250) 23-5100

動物の尊い生命を大切にしましょう

ニイツ動物病院

新潟市古田4416-6 ☎24-6262
(新津警察ナナメ前 白根より)

花と緑の園芸種苗

(株) **新津園芸**

代表取締役 佐藤 栄一
新潟市大字浦興野18 ☎(22)5462 FAX (24)9944
関東営業所/今市市倉ヶ崎茶臼山下 ☎0288(24)2299